

今、子どもたちの 未来が問われています！

子育て環境の整備が緊急の課題です。

子どもが心身ともに健やかに育つ社会、子どもを生み育てることに喜びを感じることでできる社会の構築が今こそ必要です。保育所の待機児童、少子化、児童虐待など、子どもの問題がますます深刻になっている現在、子育て関係の施策を充実させることが急務となっています。(グラフ参照)

日本のどの地域でも子どもが健やかに育つために。

子育て関係施策等の整備状況は地域によって格差があります。人間の成長発達にとって重要な時期である乳幼児期の子どもが、日本のどの地域でも健やかに育つことができるように、国と地方公共団体が共に責任をもって子育て環境を整備することが望まれます。

民間保育所の運営費を中心とした
子ども関連の補助金を地方自治体へ移譲する
考え方には再考を求めます。

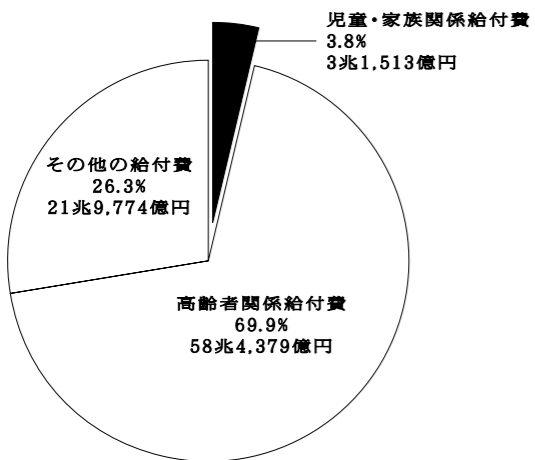


これまで国が負担してきた民間保育所の運営費をはじめ、児童福祉関連のほとんど全ての予算を、地方自治体の裁量に移そうという動きがあります。これから全国的な基盤整備を進めようとしている子育て分野についての財源を、地方自治体へ移譲する考え方に、私たちは再考を求めます。

日本の未来を担うすべての子どもたちを、
大切に育てていくために。

私たちといっしょに考えてください。

これから基盤整備が急がれる子育て分野
—現在投入されている予算はわずか3.8%—



(参考) 社会保障給付費に占める高齢者関係給付費と児童・家族関係給付費
※数字は平成14(2002)年度 国立社会保障・人口問題研究所データより

あなたのご意見をください。
子育て環境の整備を進める会 事務局
<http://www.kosodate-kankyo.com>